

解答例

音楽学習プリント【中学校1年生】 年 組 名前



1 器楽の教科書を見ながら、進めましょう。

ア P.14「きらきら星」をソプラノリコーダーで演奏しましょう。

できばえは→ ◎ ○ △

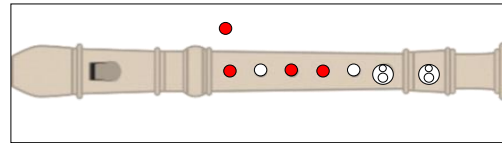
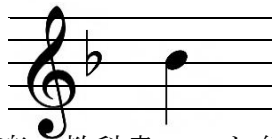
イ P.15「木かげの思い出」の主旋律（上のパート）を演奏しましょう。

できばえは→ ◎ ○ △

ウ P.15「ふるさと」の主旋律（上のパート）を演奏しましょう。

できばえは→ ◎ ○ △

エ 次に示す音をソプラノリコーダーで演奏する場合の運指を書きましょう。



2 器楽の教科書 P.9 を参考に進めましょう。

ア 一つ一つの音の切り方やつなぎ方のことを「アーティキュレーション」と呼びます。これは、旋律にさまざまな表情をつけるための大切な方法です。次に示す奏法について説明の文章を完成させ、演奏に生かしましょう。

① スタッカート奏法

タンギングを用いて一つ一つの音を（短く）切って演奏する。

② ノン レガート奏法

タンギングを用いて、音と音の間に（短い）すき間をつくって演奏する。

③ ポルタート奏法

息の流れを切らずに、一音ずつ（タンギング）をしながら、なめらかに演奏する。

④ レガート奏法

最初の音でタンギングをし、そのあとの音は（息の流れ）を切らずに演奏する。

イ P.9「さんぼ道」を、上の①～④のアーティキュレーションを使って演奏しましょう。上手に演奏できたら(^o^) まあまあなら(^_^) 難しいなら(^_^;)

できばえは→ (^o^) (^_^) (^_^;)

3 1年生の教科書 P.8～P.9 を参考にしながら、「豊かな響きの歌声づくり」に挑戦しましょう。二つの EXERCISE に何回かチャレンジ！！

チャレンジした回数を□の中に書きましょう。何回できたかな？

スムーズな呼吸 EXERCISE →

響きづくり EXERCISE →

※ 息を吐いたり歌ったりするときは、人がいない方向を向いたり、換気をしたりするなど、気を付けて行ってください。